

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 稲城市立平尾小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒206-0823
東京都稲城市平尾3-1-3

E-mail inehirao@educet.plala.or.jp

Website _____

児童生徒数 男子 274名 女子 301名 合計 575名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

テーマ「平尾活性化プロジェクト～人や地域との豊かなつながりと体験を軸に～」
人を取り巻く環境に関する概念 多様性・相互性・有限性
人の意思・行動に関する概念 公平性・連携性・責任性

○1年生の活動

「ふれあいひろば」生活科 (相互性・有限性・連携性)

ふれあいセンターや地域の年配の方約30人を講師にお招きして、けん玉・カルタ・あやとり・折り紙・コマ回し等の昔遊びを教えてくださいました。様々な昔遊びを体験することができ、地域の方々に対する親しみや優しい気持ちを育むことができました。

「ふれあいひろば」で習ったことを今度は地元の4つの幼稚園・保育園年長の園児と交流をする「なかよしひろば」で教える側になり4月から小学生になる年長児に優しく丁寧に教えることができました。責任感や自己有用感が高まる有意義な交流になりました。

○4年生の活動

「バリアフリーってなあに」総合的な学習の時間 (相互性・有限性・責任制)

総合的な学習の時間を使って「バリアフリーってなあに」という福祉の学習に取り組みました。社会福祉協議会の協力の下、車椅子体験、点字体験、白杖体験、手話体験などたくさんの疑似体験をしました。これらの体験を通して車椅子に乗っている人、白杖を持っている人たちが安心して生活を送るためには介助する側の声のかけ方が大切であるということ学びました。自分で打った点字を読んでもらったり、手話を使って会話をしたり、不自由のある人たちの生活の仕方や様子について学ぶことができました。体験学習から学んだことを振り返り、自分が調べたいテーマを設定して調べ学習を行ないました。学習したことをもとに自分の身の回りに目を向け自分にできることは何かを考えることができました。誰にとっても暮らしやすく幸せな社会とは何かを考えるいい機会になりました。

○5年生の活動

「お米博士になろう」総合的な学習の時間 (多様性・有限性・相互性)

地域の農家の方の畑をお借りして、籾蒔きをして苗を育てました。その後、地域の農家の方にご指導をいただき、学校の田んぼに苗を植えました。水の管理や野鳥から稲を守る工夫をしました。自分たちでもみすりや脱穀の方法を調べ機械を使わず自分たちの手作業で白米に仕上げました。収穫できたお米は少量でしたが自分たちで育てたお米を味わうという貴重な経験ができました。お米作りを通して一年間かけてお米を育てる農家の方の労働の重みを感じることができました。お米一粒一粒を大切にしようという気持ちが育ち食育面でも成果をうむことができました。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）